

岸岡茂氏文書概要

- 1: 文書群番号 096104
- 2: 文書群名 岸岡茂氏文書
- 3: 出所 岸岡茂家
- 4: 家業・役職等 近世：塚口村庄屋
近代：塚口村副戸長 / 立花村村会議員
- 5: 地名 摂津国川辺郡塚口村 / 兵庫県川辺郡塚口村 / 川辺郡立花村塚口 / 尼崎市塚口 / 尼崎市塚口本町
- 6: 行政区分 幕府領 / 尼崎藩領 / 兵庫県第10区 / 南野組戸長役場 / 立花村 / 尼崎市
- 7: 歴史 岸岡家は塚口村で庄屋や副戸長などを勤めた家である。塚口村は応永16(1409)年建立と伝えられる塚口御坊を中心とした寺内町であり、土居(土壘)と堀をめぐらせた内部は、東町・清水町・北町・南町の四地区に分かれていた。近世以前から在方町としても発展し、神崎から昆陽・有馬への往還道、西宮方面から吹田への往還道が村を通っている。
- 8: 伝来 阪神・淡路大震災で被災した蔵で保存されてきた古文書類及び母屋の襖類を撤去するに先立って平成8年(1996)8月および翌年4月に岸岡澄子氏より借用、同13年10月、岸岡氏より寄託。
- 9: 史料入手先 岸岡澄子氏
- 10: 点数 1951点(目録件数1662件)
- 11: 年代 天正3年(1575)～昭和27年(1952)
- 12: 構造と内容 本文書群は 塚口村関係の文書が大半を占め、ほか 岸岡家の経営全般(土地・金融・農業)に関する文書及び書籍等からなる。村関係の文書では、領主尼崎藩の支配や年貢収納に関するもの、村入用の勘定・割付等村財政関係のものがまとまって残っている。ほかに尼崎・昆陽の馬借争論(元文5)、菜種売買についての武庫郡55ヶ村訴願(明和3)、塚口御坊・門徒の争論(寛保元)等の史料がみられるのも特徴。また 岸岡家と江戸の鴻池善兵衛家との間で交わされた書簡が多くあり、岸岡家が江戸へ奉公人を斡旋していたこと等が確認される。上方出身の江戸商人と塚口・伊丹地域との関係がうかがわれる史料である。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 松迫寿代